



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノザワ

コード番号 5237 URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 野澤 俊也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 金井 一弘

TEL 078-333-4111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	11,285	6.7	1,541	2.7	1,465	△3.1	976	△3.8
28年3月期第2四半期	10,581	4.1	1,501	24.0	1,511	30.1	1,015	25.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 949百万円 (1.1%) 28年3月期第2四半期 939百万円 (13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	85.61	—
28年3月期第2四半期	89.02	—

※平成28年10月1日付で普通株式について2株を1株の割合で株式併合を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	23,613	13,852	58.7	1,214.67
28年3月期	22,898	13,200	57.6	1,157.44

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 13,852百万円 28年3月期 13,200百万円

※平成28年10月1日付で普通株式について2株を1株の割合で株式併合を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	13.00	13.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成29年3月期(予想)の1株当たり配当金につきましては、平成28年10月1日付で実施した株式併合を考慮した金額を記載しております。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,000	5.4	3,300	3.5	3,210	2.5	2,110	39.2
								185.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、平成28年10月1日付で実施した株式併合を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	12,075,000 株	28年3月期	12,075,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	670,334 株	28年3月期	670,159 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	11,404,759 株	28年3月期2Q	11,405,610 株
----------	--------------	----------	--------------

※平成28年10月1日付で普通株式について2株を1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の業績予想及び配当について)

平成28年6月29日開催の第156回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これにより、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国・新興国等世界経済の減速懸念や円高進行により企業の景況感が低迷し、経営環境は先行き不透明な状況で推移いたしました。建築材料業界におきましては、企業収益が頭打ちのなか設備投資は力強さを欠き、慢性的な技能工不足や建設費高止まりも懸念されるなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、「やすらぎと安心の創造」の経営理念のもと、環境負荷低減と施工現場省力化を実現し、豊かな居住空間を創造する商品の拡充を図ってまいりました。

押出成形セメント板「アスロック」の工場塗装品ラインナップに、デザインパネルのリブ凹凸を異なる色で塗り分けた業界初の工場塗装品「リブWコート」を追加、6月より発売しました。「アスロック」ならではのシャープなリブデザインとツートンカラーが調和しスタイリッシュな壁面を構成、単色塗装品との併用によりアクセントのあるオリジナルの壁面を表現することが可能となっております。また、屋上目隠し専用パネル「アスロックタフ」に、業界初となる吸音ビルトインタイプを9月より発売いたしました。騒音が問題となる建物屋上の屋外機械置場周りの目隠し壁として、遮音性能を有するアスロックに吸音材を組み込み、「遮音」と「吸音」という異なる性能の相乗効果で優れた遮音効果を発揮します。通常の外壁以上に過酷な条件下で使用される部材として安全にご利用いただける諸性能を兼ね備え、ビルトイン機能により省力化とコストダウンにも貢献します。

販売部門では、優れた耐候性と均一で美しい仕上がりを持ちながら現場工期を短縮する「工場塗装品」、リブ形状パネルやエンボス系パネルなど多種多様なデザインで、工場塗装品との組み合わせでさらに意匠性が高まる「デザインパネル」、深刻な技能工不足による工期遅延問題を解消する「アスロックLS工法」並びに「工場プレ加工」の販売数量を伸ばしました。生産部門では、NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）改善活動により各工程の生産性を高め、品質の向上、コスト削減に努めました。管理部門では、システム構築による業務効率化、有利子負債圧縮により財務体質の改善に取り組みました。海外事業では、一般建築向け「アスロック」が先進的な外壁材として大手建築企業本社ビルに採用されるなど、中国国内におけるPR効果が着実に現れ、販売数量は堅調に推移しました。マイケミカル事業では、ミネラル肥料「マインマグ」の施用効果をユーザー様に高く評価いただき、販売数量を伸ばしております。また、「マインマグ」の製造拠点であるフラノ事業所では、3,000㎡の遊休グラウンドを整備し花畑をつくり、見学者用舗道を整備するなど、富良野市観光のお手伝いを通じて地域社会活性化にも取り組みました。

これらの結果、品種別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は75億18百万円（前年同期比7.5%増加）、住宅用軽量外壁材は10億30百万円（前年同期比14.5%減少）となり、押出成形セメント製品関連合計では85億48百万円（前年同期比4.3%増加）に、耐火被覆等は8億54百万円（前年同期比22.7%増加）、スレート関連は4億15百万円（前年同期比11.1%減少）となったこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は112億85百万円（前年同期比6.7%増加）となりました。

利益面については、主力である押出成形セメント製品が伸長したことに加え、生産性の向上、製造原価低減並びに経費削減に努めました結果、営業利益は15億41百万円（前年同期比2.7%増加）となりましたが、為替差損を計上したこと等により経常利益は14億65百万円（前年同期比3.1%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億76百万円（前年同期比3.8%減少）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ受取手形及び売掛金が7億7百万円、現金及び預金が78百万円それぞれ増加したこと等により108億38百万円（前連結会計年度末と比較して7億81百万円増加）となりました。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ投資有価証券が73百万円減少したこと等から、127億75百万円（前連結会計年度末と比較して66百万円減少）となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ7億15百万円増加し236億13百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ短期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が3億82百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が5億78百万円増加したこと等から、55億87百万円（前連結会計年度末と比較して1億10百万円増加）となりました。固定負債の残高は、退職給付に係る負債が前連結会計年度末に比べ46百万円減少したこと等から、41億73百万円（前連結会計年度末と比較して48百万円減少）となりました。この結果、負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ62百万円増加し97億60百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、利益剰余金が6億79百万円増加したこと等から、138億52百万円（前連結会計年度末と比較して6億52百万円増加）となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は38億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の増加は10億8百万円(前年同期は10億91百万円の増加)となりました。これは売上債権の増加額6億92百万円や、法人税等の支払額6億68百万円等の資金の減少要因があった一方、税金等調整前四半期純利益14億49百万円や、仕入債務の増加額6億37百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は2億21百万円(前年同期は1億39百万円の減少)となりました。これは有形固定資産の取得による支出2億24百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は6億90百万円(前年同期は8億89百万円の減少)となりました。これは長短借入金の返済による支出3億82百万円や親会社による配当金の支払額2億93百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の見通しにつきましては、今後も世界経済は力強さを欠く状況で推移することが見込まれ、設備投資についても底堅さは見えるものの、円高等の下振れリスクを反映して低調に推移することが想定されるなど、先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

このような状況のなか、当社グループは来年、創業120周年を迎えます。体質強化、収益拡大、飛躍成長の各戦略の確実な実行により強固な経営基盤を構築し、未来に向けて大きく発展する企業を目指してまいります。

販売部門では、「アスロックLS工法」、「グリッドデザインシリーズ」、「工場塗装品」など、現場省力化・工期短縮を実現し現場のコストダウンに貢献できる商品群の販売に注力し、受注数量を伸ばしてまいります。

また、ご好評をいただいている「アスロックショールーム」のリニューアルや工法の紹介動画を拡充するなど、今後もお客様に満足いただける外装プランの実現のための取り組みを推進してまいります。ボードにつきましては、内装・土木をはじめとした各市場で新規用途の提案を推進し、ニーズに特化した商品開発につなげ、受注拡大を図ってまいります。生産部門では、NNPS改善活動により品質・コスト・納期の優位性を確立し、当社独自の技術を発展させてまいります。開発部門では、市場環境の変化と多様化する顧客ニーズや社会課題に対応し、求められるニーズを形に変えて、安全・安心・快適を実現する商品構成の充実を図ってまいります。管理部門では、各部門と連携して業務改善を推進、資材調達においても効率化を図るなどトータルコストダウンに取り組み、また、問題発見解決型の人財を育成し経営基盤強化を図ってまいります。海外事業では、「野澤貿易(上海)有限公司」は、着実に増加している中国大都市圏での施工実績を利用した現場見学会により、施主への「アスロック」の優位性PRを推進し採用につなげ、より一層受注数量を伸ばしてまいります。「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」は、中国顧客の求める品質・デザインに応えるとともに、更なるコストダウンに取り組んでまいります。マイケミカル事業では、ご好評をいただいているミネラル肥料「マインマグ」に、野菜、花、観葉植物など家庭菜園でお使いいただける商品「マインマグmini」を追加し、一般園芸用商品として販売促進を図っております。今後も様々な分野で「マインマグ」をご使用いただけるよう、ラインナップを充実させてまいります。

これらの積極的な事業展開により、当連結会計年度は、売上高230億円、営業利益33億円、経常利益32億10百万円、親会社株主に帰属する当期純利益21億10百万円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,815,386	3,894,228
受取手形及び売掛金	4,322,595	5,029,825
商品及び製品	384,460	462,926
仕掛品	3,624	6,642
原材料及び貯蔵品	148,795	128,917
未成工事支出金	302,967	313,162
その他	1,082,482	1,005,840
貸倒引当金	△3,155	△3,020
流動資産合計	10,057,155	10,838,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,032,689	2,113,889
機械装置及び運搬具(純額)	672,588	681,592
土地	6,473,480	6,473,480
建設仮勘定	131,804	71,894
その他(純額)	247,695	230,786
有形固定資産合計	9,558,258	9,571,643
無形固定資産	19,212	20,619
投資その他の資産		
投資有価証券	2,387,948	2,314,462
その他	954,105	946,620
貸倒引当金	△78,104	△78,104
投資その他の資産合計	3,263,949	3,182,978
固定資産合計	12,841,420	12,775,241
資産合計	22,898,576	23,613,764

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,741,281	3,319,291
短期借入金	559,000	177,000
未払法人税等	694,338	528,757
賞与引当金	277,300	279,000
資産除去債務	3,095	—
その他	1,201,413	1,283,253
流動負債合計	5,476,429	5,587,302
固定負債		
長期借入金	345,000	345,000
再評価に係る繰延税金負債	1,466,739	1,466,739
退職給付に係る負債	1,955,570	1,909,000
資産除去債務	13,659	13,722
その他	440,789	439,134
固定負債合計	4,221,758	4,173,595
負債合計	9,698,188	9,760,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	5,764,529	6,444,384
自己株式	△258,300	△258,448
株主資本合計	9,425,801	10,105,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	530,929	476,269
土地再評価差額金	3,142,030	3,142,030
為替換算調整勘定	273,273	289,874
退職給付に係る調整累計額	△171,646	△160,816
その他の包括利益累計額合計	3,774,586	3,747,358
純資産合計	13,200,387	13,852,866
負債純資産合計	22,898,576	23,613,764



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	10,581,523	11,285,869
売上原価	6,787,916	7,357,326
売上総利益	3,793,607	3,928,542
販売費及び一般管理費	2,292,550	2,387,029
営業利益	1,501,056	1,541,513
営業外収益		
受取利息	305	99
受取配当金	36,851	39,858
為替差益	13,026	—
貸倒引当金戻入額	—	635
その他	19,122	23,608
営業外収益合計	69,305	64,202
営業外費用		
支払利息	15,741	8,063
為替差損	—	92,656
その他	42,863	39,607
営業外費用合計	58,605	140,327
経常利益	1,511,756	1,465,388
特別損失		
固定資産除却損	14,730	15,860
特別損失合計	14,730	15,860
税金等調整前四半期純利益	1,497,026	1,449,528
法人税、住民税及び事業税	533,754	492,325
法人税等調整額	△9,992	△19,177
法人税等合計	523,761	473,147
四半期純利益	973,264	976,380
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,062	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,015,327	976,380

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	973,264	976,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78,180	△54,660
為替換算調整勘定	36,331	16,601
退職給付に係る調整額	7,770	10,830
その他の包括利益合計	△34,077	△27,228
四半期包括利益	939,187	949,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	963,445	949,152
非支配株主に係る四半期包括利益	△24,258	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,497,026	1,449,528
減価償却費	296,372	209,018
貸倒引当金の増減額(△は減少)	495	△135
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,296	△30,917
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,500	1,700
受取利息及び受取配当金	△37,156	△39,957
支払利息	15,741	8,063
為替差損益(△は益)	△12,952	91,097
固定資産除却損	14,180	15,860
売上債権の増減額(△は増加)	△417,090	△692,637
たな卸資産の増減額(△は増加)	△184,544	△87,448
仕入債務の増減額(△は減少)	354,212	637,339
その他	80,435	78,601
小計	1,625,518	1,640,112
利息及び配当金の受取額	37,156	39,957
利息の支払額	△12,655	△3,064
法人税等の支払額	△558,506	△668,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,091,512	1,008,446
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△117,899	△224,997
無形固定資産の取得による支出	—	△5,183
投資有価証券の取得による支出	△30,814	△4,793
その他	9,086	13,396
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,627	△221,578
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	8,000
短期借入金の返済による支出	△172,000	△80,000
長期借入金の返済による支出	△575,000	△310,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14,354	△14,669
自己株式の取得による支出	△763	△148
親会社による配当金の支払額	△227,175	△293,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△889,294	△690,235
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,716	△17,789
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	66,307	78,842
現金及び現金同等物の期首残高	3,116,407	3,815,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,182,714	3,894,228

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別生産実績は次のとおりです。なお、その他の事業の生産はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	増減
区分			
押出成形セメント製品	4,839,068千円	4,771,158千円	△67,909千円
スレート関連	294,394	268,405	△25,988
その他	41,795	49,733	7,938
合計	5,175,257	5,089,297	△85,960

(注) 1 金額は、製造価格によります。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業のうち、工事の受注状況は次のとおりです。なお、その他の事業の受注はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
区分	千円	千円	千円	千円	千円	千円
押出成形セメント製品工事	749,035	964,009	1,039,722	1,215,967	290,687	251,957
スレート工事	7,460	3,650	4,726	—	△2,734	△3,650
耐火被覆等工事	1,031,762	736,322	772,912	528,555	△258,849	△207,766
その他工事	262,616	343,198	203,280	399,230	△59,336	56,032
合計	2,050,874	2,047,179	2,020,641	2,143,753	△30,233	96,573

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別販売実績は次のとおりです。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	増減
区分			
建築材料関連事業	千円	千円	千円
押出成形セメント製品関連	8,198,491	8,548,774	350,282
(内、アスロック)	(6,993,568)	(7,518,056)	(524,488)
(内、住宅用軽量外壁材)	(1,204,923)	(1,030,718)	(△174,205)
スレート関連	468,177	415,983	△52,193
耐火被覆等	696,202	854,461	158,259
その他	1,199,875	1,449,663	249,787
計	10,562,746	11,268,883	706,136

なお、その他の事業の販売実績は、当第2四半期連結累計期間16,986千円であり、前年同期比1,790千円の減少となっております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		増減
	金額	割合	金額	割合	金額
積水ハウス(株)	2,524,115千円	23.9%	2,425,411千円	21.5%	△98,703千円
伊藤忠建材(株)	1,432,008	13.5	1,554,834	13.8	122,826

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は、上記のとおりです。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。